

アスコリ・ピチェーノ県

ヴァレーリア

チポレッティ



アスコリ・ピチェーノ県はイタリアのマルケ州にある県です。マルケ州は長方形の形をしているイタリアの中央の州です。その中に帯状に四つの県があります。

アスコリ・ピチェーノ県は、その一番南にある県です。その左側にウンブリア州があって、下側にアブルツォ州があって、右側を海に囲まれています。アスコリ・ピチェーノ県の左側は、アッペーニニという山地、海に近付ければ近付くほど丘が多くなって、最後に土地は平野になります。アスコリ・ピチェーノ県は左右に拡張しているため、西にあるシビリーニ山と東にあるサン・ベネデット・デル・トロント町では、気候も生活もずいぶん違います。マルケ州の面積は、約9千6百平方キロメートルです。また、アスコリ・ピチェーノ県の面積は、約2千平方キロメートルです。人口は約381万人で、人口の多くは、アスコリ・ピチェーノやサン・ベネデット・デル・トロントなどの大都市に、集中しています。

見所は色々ありますが、その中でアスコリ・ピチェーノはルネッサンス時代の教会として有名です。サン・ベネデット・デル・トロントは観光地として人気があります。最後に、Fermo フェルモの周りには靴の産地として世界に知られています。

アスコリ・ピチェーノ県の特異な地形的特徴により、ほとんどの町が丘の上に生まれました。中世には、それぞれの町が他の町と戦っていましたから。そのため、おか丘の上に城を建てて、敵の町がいつ戦いを始めるかわかりやすいようにしました。（その理由で）現在でも丘の上には小さな町がたくさん残っており、そのほとんどの町は「Monte、モンテ」、日本語で「山」と呼ばれています。例えば、私の生まれた所は「Monte Urano、モンテ・ウラーノ」と呼ばれている町ですし、その近くには、モンテ・グラナーローやモンテ・サン・ジュストという町があります。



アスコリ・ピチェーノは大理石の右畳の広場、や「カルロ・クリヴェッリ」の美術館で有名です。フェルモはローマ時代に生まれた町で、ローマ時代の建物がたくさんあります。最も大切な教会の中には、「カンタベリー」のオーバーコートがあります。フェルモ市の周りには、靴を作っている工場がたくさんあるので、そこで安い靴が買えます。一番有名なのは「Diego Della Valle の Tod's」というメーカーです。

アスコリ・ピチェーノ県の名物はたくさんありますが、イタリア中に知られているのは、おいしい「Olive ascolane、オリーヴェ・アスコラーネ」です。それはオリーブと肉で作られた食べ物です。それにワインもおいしいです。

私は、夏休みになると、できるだけ海の前にあるポルト・サン・ジョールジョ町の超高層ビルで登ってみます。その最上階から見渡す広大な海の景色はすばらしい。景色がとても面白い点で言えば、他に好きな場所は、フェルモの大きい教会から見える景色です。